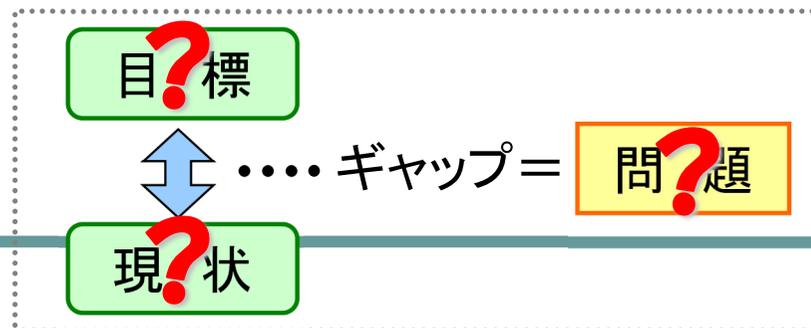


2.問題発見の障害

適切に問題を発見できない
理由を考える

2.問題発見の障害

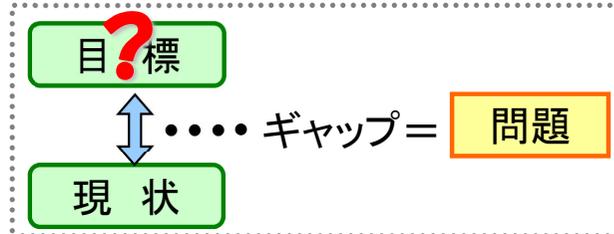
- 問題を発見できない4つの原因
 1. 問題定義において「目標」が不明確
 - 「目標」をイメージできない, 「目標」設定が誤っている
 2. 問題定義において「現状」が不明確
 - 「現状」の認識・分析力が低く, 正確に把握できない
 3. 問題定義において「ギャップ」が不明確
 - 「問題」の構造・本質を解明できない
 4. 問題定義の「構造」そのものが不明確
 - 問題の本質を捉えず, 安易に実行可能な対策を行う



2. 問題発見の障害

1. 問題定義の前提「目標」が不明確

- 「目標」をイメージできない, 「目標」設定が誤っている



- 例: さて, 何でしょう?

THE CAT

- 「質問の意味がわからない」?
- 「最初がHで2つ目はAだ. つまり, HとAの出来損ないだ」?
- 「最初がAで2つ目はHだ. つまり, AとHの出来損ないだ」?
- 「両方ともAの書き間違いだ. つまり, どちらも頭がくっついてない」?
- 「両方ともHの書き間違いだ. つまり, どちらも棒がまっすぐじゃない」?



「目標」が不明確なので, 何を問題とするかも様々考えられる

2.問題発見の障害

- 例題:さて, なんでしょう?

TAE CAT

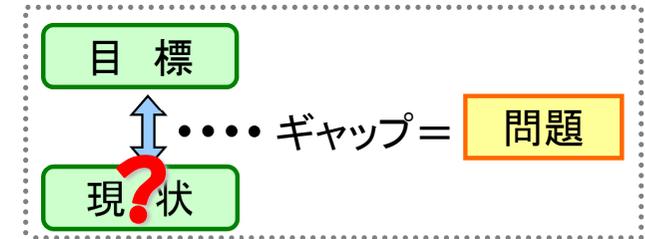
- では, 問題定義の前提「目標」を明確にした上で考えるとどうなるか?

- **TAE CAT in the hat** → **THE CAT in the hat**
(帽子をかぶった猫)
- **TAE CAT** 医学・生物学 → **TAE**(肝動脈塞栓療法) など
CHT(コリトランスポーター) など
- **Peace in TAE CAT** → **Peace in THE CHT**
(チッタゴン丘陵和平協定)
- **etc.**

2.問題発見の障害

2. 問題定義の前提「現状」が不明確

- 「現状」の認識・分析力が低く、正確に把握できない



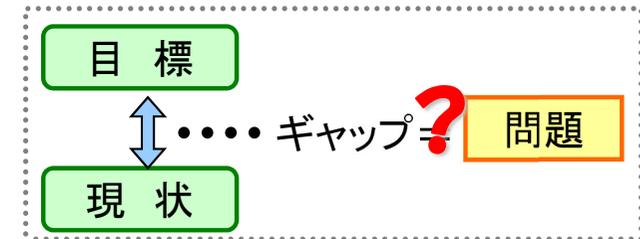
- 「現状」を直視しない・**できない**理由

- 問題の隠蔽 ... 知られるとまずい
- 政治的圧力(上司・部下の関係, パワハラ)
- 現状認識が主観的で, 客観的には曖昧
- 問題の先送り, 問題の回避思考
 - ... 本質的な問題には直面したくない, 難しすぎて考えたくない
- スキルの欠如 ... 現状を認識するための知識・技能が欠けている

2. 問題発見の障害

3. 問題定義の前提「ギャップ」が不明確

- 「問題」の構造・本質を解明できない
- 複数の原因の構造化・優先順位付けができない



例) シェアが下がっている

⇒ シェアをあげろ

例) ビリヤード, ダーツ, もぐらたたきなどの遊技

⇒ 気合いだ! 反射神経だ! とにかく, やってみろ!

ルールやシステム, メカニズムなどを理解しないと勝てない

例) 市場の変化 (特定品市場から多種多様な製品市場へ)

⇒ 低価格品から高付加価値製品まで全てに対応しようとし, 全てに対応できなくなった. 自社の強み・弱みを考えない

(cf. SWOT分析, Strengths, Weaknesses, Opportunities, Threats)

2.問題発見の障害

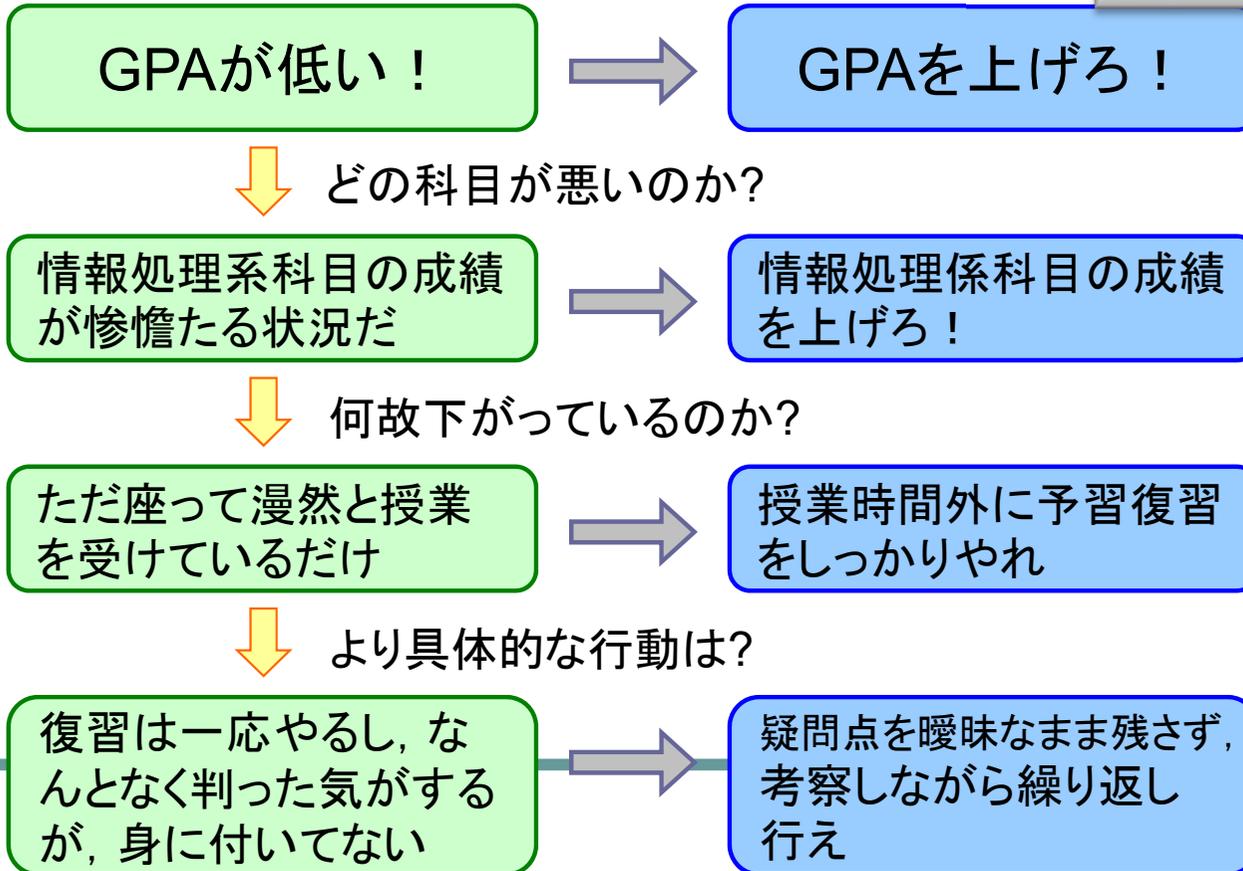
- 曖昧なギャップを明確にする
 - 例) 学業成績が芳しくないなので、成績を上げたい
[現状: GPA1.5] ← ギャップ → [目標: GPA3]



ギャップ(GPA差1.5)を埋めればよい

はっきりしていそうで
実は曖昧なギャップ

ギャップの明確化



2. 問題発見の障害

4. 問題定義の「構造」そのものが不明確

- 問題の本質を捉えず、安易に実行可能な対策を行う
(「目標」も「現状」も考えず、従って「ギャップ」も不明)



- 例) あるサッカーチーム:「全国大会に行くぞー！」

⇒ キャプテン:「各自ができることをやろう！」

A君:「リフティングの練習だー！」

B君:「ドリブルの練習だー！」

C君:「パスの練習だー！」

D君:「走りこみだー！」

E君:「シュートカアップだー！」

.....

目標は？

- 全国優勝！
- 全国大会に出場できれば...
- etc.

現状は？

- 自チームはどれだけ強いのか？
- 自チームの強み・弱みは？
- 他チームはどれだけ強いのか？
- 全国のレベルは？
- etc.

Cf.「彼ヲ知り己ヲ知レバ、百戦シテ殆ウカラズ」
『孫子 謀攻篇』